



原稿を書いているのは、ソチ冬季オリンピックの真っ最中。
昨日は、ノルディック複合の渡部暁斗選手の激闘に心が躍り
ました。

その五輪はまだ途中ではありますが、2人の4位になった日本人選手が、とりわけ心に残りました。

まず4回目の五輪となる**上村愛子**選手。

決勝は、素晴らしい、最高の演技だったと思います。

自分の競技が終わってゴーグルを外した上村愛子選手は、”やりきった感”からか、涙ぐんでいました。

しかしながらその後、素人目にはミスがあったと思われる後続の競技者に逆転されて、4位に転落。

落胆しているであろう、カメラが映した最終順位を確認した上村愛子選手の表情は、意外にも、さわやかな
そして素敵な笑顔でした。その上村愛子選手のコメントです。

「**点数は点数。また4番でした。メダルは取れなかったが、攻めて滑りたいという思いで3本全部滑れたので
清々しい。今回は最後だと思っているので、オリンピックの思い出が良い思い出で終わります。
メダルはないけど、頑張ってたよ。**」

そして、もう一人。金メダル間違いなしと期待されていた、**高梨沙羅**選手です。

17歳を追いかける報道陣。のしかかる重圧。しかし競技後、彼女が口にしたのは、
そんな言い訳や不利な追い風を受けたことでもなく、最後まで感謝の言葉でした。

「**今まで支えてくださった皆さんに感謝の気持ちを伝えるためにこの場所に来たので、
そこでいい結果を出せなかったことはすごく残念です。**」

しっかり答えた後、インタビュアーの目をまっすぐ見る彼女の表情。そのインタビュアーが最後に思わず言っ
た、「**よくがんばりました**」の一声に頷く彼女。テレビで見ていた私の方が、こみあげるものがありました。

昔、巨人軍の元監督長嶋茂雄さんの監督室には、下のような後藤清香さんの一篇の詩が掲げてあったと聞か
ます。

本気ですれば
たいいていの事はできる
本気ですれば
なんでも面白い
本気でしていると
だれかが助けてくれる
人間を幸福にするために
本気ではたらいっているものは
みんな幸福で
みんなえらい

後藤清香

そうです。メダルは関係なく、上村選手も高梨選手も、みんなえらい。

本気で一生懸命頑張っているのが伝わるから、周りの人みんなが応援したくなる。助けたくなる。

そして、本気で働く社長さんも、本気で働いてくれる、社員さんもみんなえらい。

私たちもそんな人たちを応援したい。そんな人達が報われてほしい。そんな世の中にしたい。。

心からそう思います。

よくがんばったよ～

それにしても、最近涙もろくなりました私です・・・。

